

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和2年12月1日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあそびをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

史上初！ ビデオ動画 de 英語暗唱大会

第25回東大阪市中学生英語暗唱大会(日新杯レシテーションコンテスト)が行われ、市立中学校25校からそれぞれ選出された代表者1名が、ビデオ録画を活用したスピーチを披露しました。

今年度は、例年上位入賞者が進む大阪府の暗唱大会がコロナ禍で中止となったことを受け、市の大会も中止が検討されました。しかし、共催三者(日新高等学校、中学校英語教育研究会、教育委員会)が、“集まっての開催はできないが、何か違う形で開催できないか”と考えた結果、ビデオ録画による形で実施することになりました。

審査の結果、TOP5名に選ばれた生徒に対しては、日新高等学校において表彰式を行いました。選ばれた生徒たちは、高等学校の校長よりトロフィーと表彰状を授与されたあと、高校生からは英語で祝福のメッセージを受けました。また、高校生から英語による受賞インタビューを受けた際にも、自分の考えを自分の言葉(英語)で高校生に負けじと応答していました。当日はマスコミ等の取材も入り、和やかながらも緊張感のある雰囲気でも式が進行しました。

With コロナでこのような形の開催でしたが、TOP5の生徒はもちろんのこと、引率いただいた先生やALT(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)、保護者の皆さんの笑顔が印象的な、素晴らしい大会となりました。

また本大会は、参加した代表者だけでなく各中学校の多くの生徒が取り組んでくれたことから、本市中学生の英語学習への波及効果に一役買うことができたのではないのでしょうか。



◆スタントマンによる交通安全教室◆

今年も東大阪市道路管理室と警察署交通課と連携し、「スケアード・ストレート方式」を用いたスタントマンによる交通安全教室が、意岐部中学校(11月11日)、金岡中学校(11月12日)、楠根中学校(11月13日)の3校で実施されました。

「スケアード・ストレート方式」とは、テレビや映画にも出演しているプロのスタントマンにより、実際に自転車やバイク、乗用車や大型トラックなどで事故の状況を再現するものです。そのねらいは、危険な状況を目の当たりにすることで、事故の恐ろしさを体感し、交通ルールを守ることの大切さを学ぶ事です。

生徒たちは、運転手から死角となる位置があることを確認したり、大型トラックなどの内輪差の大きさを知ることで、交差点での信号待ちでは、普段よりも大きく3歩下がって待つことの重要性等を学びました。

あっ あぶない! スマホに危険は うつらない
~令和2年交通安全年間スローガン(小5 優秀賞)より~



【自転車と車の接触場面】



【内輪差による巻き込み場面】

生徒の感想

- ・巻き込み事故が一番怖いと思いました。実際どのように対応すればいいのかわかってよかったです。
- ・ながらスマホをしていたのでやめようと思いました。自分の交通ルールがいかに間違っているか改めて気づかされました。
- ・これからは標識をよく見て、自転車では左側を通行しようと思いました。

危険な自転車の乗り方

- ① スマホを操作しながら等の“わきみ運転”
- ② 両手離し運転
- ③ 2台横に並んで走る“並走”
- ④ 一旦不停止
- ⑤ 右側走行
- ⑥ イヤホンやヘッドホンの使用



令和2年度大阪府中学校生徒会サミット開催 テーマ「大阪からいじめをなくすために」

～いじめを自分の問題として捉え、学校を安心して過ごせる居場所とするために～

令和2年11月7日(土)大阪府庁本館・大阪府議会議場にて大阪府中学校生徒会サミットが開催されました。「大阪からいじめをなくすために」をテーマに大阪府下43市町村の公立中学校、府立中学校、私立中学校が協議を行い、東大阪市からは、布施中学校の生徒会メンバー2名が市の代表として参加しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてリモートを取り入れた形式で、議場には27校、リモートで22校の生徒会代表が参加しました。

① 全体意見交流会

自分自身のいじめ体験等をもとに参加校で意見交流を行いました。

いじめを目の当たりにしたとき、「自分は何ができるのか」「周りにはどんなことができるのか」など、出された体験談から、「すべての生徒にとって、学校が安心して過ごせる居場所」とするためには一人一人がどんなことを考え、行動しなければいけないのかを話し合いました。



議場での意見交流の様子

② グループ協議

議場とリモートでグループに分かれて、各グループ進行担当の生徒を中心にそれぞれで協議を進めました。

全体意見交流会で出た意見を踏まえて、「いじめに対してどんな関わりができるか」や「嫌と言える空気を作るにはどうすればよいか」などのより具体的な話し合いが行われました。

リモート参加校同士の協議もスムーズに行われ、これからの時代を象徴するような形での活動でした。

③ 全体協議

各グループで話し合ったことをそれぞれ発表し、その発表された内容に対してさらに議論することでより考えを深め合いました。

最後のまとめとして、「いじめを許さない環境をつくること」「友人や信頼できる人に相談すること」「みんなとつながること」が挙げられました。

参加した布施中学校の生徒からは、「いじめについて深く考える機会となり、とても貴重な経験ができた」という感想があり、充実した時間になったようです。



リモートでの協議の様子



議場前での集合写真